

# イギリスの障害学：その実績と課題

昨年5月にイギリスのマンチェスターメトロポリタン大学（MMU）にて私達のプロジェクト（READ：総合社会科学としての社会・経済における障害の研究）は「Disability and Economy: Creating a Society for All」をテーマに東大フォーラムを開催しました。そこに参加をいただいたMMUのダン・グッドレーと、現在はWHOで「世界障害報告」に取り組んでいるトム・シェークスピアという現代のイギリス障害学を代表する存在の両氏をお招きして、イギリスの障害学の実績と課題について異なる観点からお話をうかがいます。

障害学の基盤となっている「社会モデル」は内閣府の障がい者制度改革推進会議による「障害者制度改革の推進のための基本的な方向（第1次意見）」（2010年6月7日）においても基本的な考え方として採用されています。イギリスの障害学にとっての社会モデルの位置づけや、イギリスの障害学での研究と実践の関係について今回の公開講座では取り上げます。関心のある皆様のご参加を心からお待ち申し上げます。

**日時 2010年10月30日（土）午後1時—午後6時**

場 所： 東京大学本郷キャンパス 経済学研究科棟1番教室（地下1階） 地図裏面

情報保障： 日英逐次通訳・文字通訳・手話通訳

参加費： 無料

お申込みは、READウェブサイト <http://www2.e.u-tokyo.ac.jp/~read/jp/>の専用フォームからお願いします。

点字レジュメ、拡大文字レジュメが必要な方は、10月23日までにお申し込みください。

\* なお会場の都合上、車イスをご利用の方は、お申し込みの際にお知らせください。

## プログラム

12:30 開場

13:00-14:30 **ダン・グッドレー（マンチェスターメトロポリタン大学）**  
**イギリスの障害学—社会モデルのさらなる前進**

British disability studies: Moving on and with the social model

14:30-14:45 休憩（質問票回収）

14:45-16:15 **トム・シェークスピア（世界保健機構：WHO）**  
**イギリスの障害学—研究と実践**

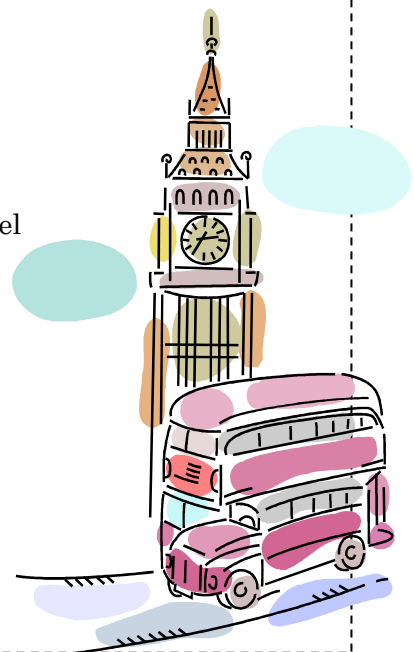
British disability studies: researches and practices

16:15-16:30 休憩（質問票回収）

16:30-18:00 質疑応答

指定発言1 川島聡（東京大学/READ）

指定発言2 川越敏司（はこだて未来大学/READ）



主催・東京大学 READ「経済と障害の研究」 <http://www2.e.u-tokyo.ac.jp/~read/jp/>

お問い合わせ先 [read.koukai@gmail.com](mailto:read.koukai@gmail.com)

# 会場 東京大学大学院 経済学研究科（本郷キャンパス）

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1

- ◇ 赤門から入って右側は現在工事をしています。赤門からこられる方は、直進した後、建物を回り込んで経済学研究科棟入口までお越しください。会場は地下一階（エレベーターあり）です。
- ◇ 会場には車イスで利用可能なトイレがあります。

## 【最寄り駅】

### ◇本郷三丁目駅

地下鉄丸ノ内線 徒歩約6分 エレベーターあり

都営地下鉄大江戸線 徒歩約5分 エレベーターあり

◇湯島駅（地下鉄千代田線）徒歩約8分 エレベーターあり

◇根津駅（地下鉄千代田線）徒歩約12分 エレベーターあり

◇東大前駅（地下鉄南北線）徒歩約10分 エレベーターあり

